



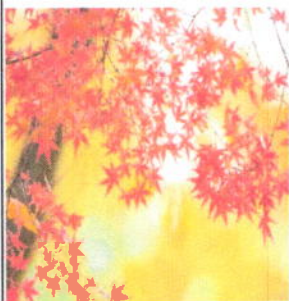
特集

1. 平成30年産米作
2. 転作情報
3. 育苗ハウスの修繕
4. 今後の農作業予定

ひとりごと

紅葉の季節になり、朝晩はめっきり冷え込んできました。体調管理は大丈夫ですか。ゴールデンタイムに芸能人が俳句を詠む番組があります。夏井先生の^{しんらつ}辛辣な添削指導とゲストとの軽妙なやり取りを面白く視聴して、自分だったらどう表現するだろうなと思いついている。近郊にも多くの紅葉の名所がありますから、皆さんも出かけて一句詠んでみては。

㊦



平成30年産米作情報

今年度の米作の状況などを報告します。早生種の「みずかがみ」・「コシヒカリ」については、例年並みの収量が確保出来ましたが、「キヌヒカリ」晩生種「日本晴」は減収となりました。夏場の高温障害や台風が大きく影響したようである。気候の変動に左右されるのが農業ですが、今後は滋賀県産の「みずかがみ」といった高温障害に強い銘柄にシフトしていく必要がある。また、12月にはTPPが発効します。外国から安い農産物が輸入されてくると予想されていますが、安心安全な農産物を体力強化して生産することが求められている。

参考：平成30年産玄米重量（kg）

みずかがみ	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴
34, 185	13, 929	16, 392	28, 041



転作情報

平成31年の転作ですが、ブロックローテーション予定圃場の排水状態が悪く、転作が不可となりました。特にD工区を全面的に水稻生産に変更して、681.7aに小麦を11月1日より播種、その他は水稻を作付する予定。また、平成30年産の大豆の刈取作業を11月10日頃より実施します。



ふくさやかの播種作業

育苗ハウスの修繕

9月の台風21号により、損壊しておりましたビニールハウスの修繕を国の災害復旧事業で行う予定です。彦根市の事業では見舞金程度、滋賀県は園芸用ハウスでは無いため補助事業の対象外になります。10月24日の説明会に参加した折に申請はしました。ただ、いくつかの条件があり、融資を受けること、ハウスの共済加入が必須項目です。総費用の4/10が補助の対象となり、修繕見積総額は約127万です。

今後の農作業予定

- 11月1日～ 小麦の播種他
- 11月中頃～ 大豆の刈取作業
- 11月17・18日 畦畔補修作業
- 11月下旬～ 田華の豊稲散布

